学校番号	３００２

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	総合実習	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

動物飼育・栽培管理、畜産物加工、動物活用における総合的な技術や動物の活用について、体験的に学ぶ実習科目です。動物飼育・栽培管理、畜産物加工、動物活用における知識および技術について、その役割を理解し、繰り返し活用することによって確実に習得しましょう。実習のなかで自ら課題を発見し、その解決のために、工夫や改善を行い、仲間と協力するなどして、実践的な能力と態度を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
・動物飼育・栽培管理、畜産物加工・動物活用について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・動物飼育・栽培管理、畜産物加工・動物活用に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・動物飼育・栽培管理、畜産物加工・動物活用についての経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などにおける基礎的・基本的な知識を身に付け、それらに関する知識や技術の体系を理解するとともに関連する技術を身に付けている。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などにおける専門技術とそれらに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などにおける専門技術に関心をもち、その改善・向上をめざして主体的かつ協働的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	動物飼育に関する基礎的な実習 学校農業クラブ活動	動物飼育・栽培管理の知識と技術 体験学習などの実践的な農業クラブ活動	a: 動物の活用について理解し、基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。 b：動物の活用における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c： 動物の活用に関心を持ち、意欲的かつ協働的に学習に取組もうとしている。	実技 定期レポート 課題	実技 定期レポート 課題	学習状況の観察 定期レポート 課題
2学期	動物飼育に関する産業現場等における総合的な実習 学校農業クラブ活動	農芸祭における実践的な動物飼育・栽培管理における総合的な知識と技術 実践的な農業クラブ活動	a: 専門技術と動物の活用について理解し、総合的な知識や技術を身に付けている。 b：動物の飼育と活用における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c： 農業の産業現場等における総合的な知識と技術や経営と管理の手法について、主体的かつ協働的に取り組むこと。	実技 定期レポート 課題	実技 定期レポート 課題	学習状況の観察 定期レポート 課題
3学期	畜産･栽培に関する総合的な実習 学校農業クラブ活動	動物飼育・栽培管理、の総合的な知識と技術 実践的な農業クラブ活動	a: 動物飼育における専門技術と動物の活用について理解し、総合的な知識や技術を身に付けている。 b：動物飼育等の各分野に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 c ：動物飼育等の各分野に関する基礎的な知識と技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	実技 定期レポート 課題	実技 定期レポート 課題	学習状況の観察 定期レポート 課題

※表中の観点について　　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度